

令和3年第1回伊佐市議会定例会

提案理由説明

(追加分)

○ 説明順

1 議案第36号～議案第38号 (降壇)

令和3年3月15日提出

伊佐市長

追加提案いたしました議案第36号から議案第38号までについて説明申し上げます。

まず、議案第36号「令和2年度伊佐市一般会計補正予算（第15号）」について説明申し上げます。

今回の補正は、衛生費について、新型コロナウイルス感染症対応対策関連経費として、職員の時間外勤務及びワクチン接種記録システムへの対応に要する経費について追加の措置を講じ、災害復旧費については、鹿児島県治山林道協会からの寄附金に伴い、財源組替の措置を講じております。

これらの財源につきましても、国庫支出金及び寄附金をもって充当し、繰入金については減額の措置を講じております。

この結果、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ157万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ215億2,628万5千円とするものであります。

このほか、年度内に事業が完了する見込がないため、むらづくり整備支援事業（災害対応分）に明許繰越による繰越しの措置を講じております。

次に、議案第37号「令和3年度伊佐市一般会計補正予算（第1号）」について説明申し上げます。

今回の補正は、衛生費について、新型コロナウイルス感染症対応対策関連経費として、ワクチン接種実施医療機関までのタクシー代の一部助成及び電算システムの借上げに要する経費について新たに措置しております。

これらの財源につきましては、国庫支出金及び繰入金をもって充当しております。

この結果、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ300万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ163億300万円とするものであります。

次に、議案第38号「副市長の選任」について説明申し上げます。

本件につきましては、前副市長の退職に伴い、副市長が欠員となっておりますので、新たに選任しようとするものであります。

まえだくにゆき
前田創之氏は、現在46歳で、広島大学を卒業後、九州旅客鉄道株式会社に入社され、JR九州旅行鹿児島支店副支店長や、九州旅客鉄道株式会社旅行事業本部企画課課長などを歴任、現在はJR九州システムソリューションズ株式会社へ出向され、取締役として活躍されております。

また、平成25年4月から3年間、福岡経済同友会にも出向された経歴の持ち主でもあり、その経験と幅広い人脈は、本市のPR戦略を構築する上で大きな力となり、交流人口の増加や地域経済の活性化など、本市の発展に大いに寄与していただけるものと期待するものであります。

以上のことから、まえだくにゆき前田創之氏を本市の副市長に適任であると考え、地方自治法第162条の規定により、議会の同

意を求めるものであります。

以上、議案3件についての説明を終わります。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

——— 降 壇 ———